

喜界町 図書館だより

〒891-6201 喜界町大字赤連小字樋口前30番地

11月号



【通算 233号】
2015（平成27）年11月1日発行

TEL: 0997-65-0962
FAX: 0997-65-2523
e-mail: kikailib@town.kikai.lg.jp

2015. 第69回 読書週間《10/27(火)～11/9(月)》

今年の標語：「いつだって、読書日和」の入選者賀澤隆一さんは、「例えば晴れた日の太陽の下で、雨や曇りの日なら静かな室内で、考えてみれば、どんな季節や環境でも、本の世界に飛び込む瞬間が、自分にとっての読書日和でした。読みたいと思う本に出会い、そのときの状況までも心に残るような読書体験が、多くの人に広がってほしいと願います。」と、標語にこめた思いを語っています。（H27.9.15読書推進運動より）

本を読んでいると、ついつい時間を忘れて夢中になってしまいます。そんな本の楽しさをこの2週間の読書週間でもあじわっていただきたいと思います。

＝ 大島民謡の「カトク・ナベカナ」物語 ～⑥～＝

特に彼女は、身の丈以上の長い黒髪をたくわえていたので、行水や洗髪の時は、その長い髪が邪魔になって、水汲みもままならなかったものと思われる。このような彼女の立場を考えた場合、浴用の水を親に汲んでもらう事もやむを得なかったものと思われる。

カトクナベカナが 死じゃん声聞かば 三日やミキつくて 七日大祝しろ
この二番の歌詞からは「カトクナベカナの親不孝者が死んだと聞いたらみんなでその死を喜んで三日間は白酒（ミキ）をつくって七日間もお祝いをつづけよう」と、とれるが、また別の見方をすれば「これだけの人物が、亡くなったんだから、初七日にはみんなで盛大に供養してあげよう。」とも、解釈される。

いずれにせよ、豊かな富と、たぐいまれなる天性の美貌、それに加えて野呂としての地位と名誉で彼女は村中の全女性の羨望（うらやましく思うこと）の的であったのではなかろうか。しかし、羨望は往々にして、妬み心に変化してしまう恐れもある。

とにかく、この美貌の野呂は他界して、すでに百七十余年あまり、その真相は知る術もないが「嘉徳」という人が、同じ年代におられたこと、同家のウリガー（下り井戸のこと：円く石を錐型（きりがた）に積んで、だんだん下りて行けるように掘った井戸で、底の方では、柄杓（ひしゃく）で、じかに水がくめるようになっている井戸のこと）には、彼女が浴用に使ったとみられる、トーネイ（石造りに容器）が埋め立てるまでであった事、それに野呂の神具といわれる青銅製の鏡らしい物が二個、今に伝えられている事、彼女が竿を立てかけて、長い髪をくしですいて、毛髪をととのえていたと伝えられている高倉が戦時中まで井戸の近くに建っていた事、等々から三井喜禎氏が言われるとおり、「カトクナベカナ節」の主人公のナベ加那は浜田氏の祖先ではなかったかと考えられる。（文責：登山 典壽）

引用文献：志戸桶誌 志戸桶誌編集委員会 著 喜界島古今物語 光井喜禎 著 今月号をもって「大島民謡の『カトクナベカナ』物語」を終わります。次号からは、喜界島の集落に伝わる「民話」について紹介したいと思います。

お知らせ

返し忘れていた本が
家にありませんか？

毎月23日は、
子どもいっしょに読書の日
「本は家族の一員です！」



クリスマスおはなし会 12月5日(土) 14:00～16:00

- ☆ ペープサート
- ☆ 長編アニメ 他



今回は、古本市はありません。



ぬいぐるみおとまり会

平成27年12月5日(土)

活字離れと言われる子どもたちに、ぬいぐるみが
宿泊して図書館を体験するという疑似体験をさせる
ことで、図書館をより身近に感じてもらうイベントです。

対象者：3歳～小学3年

参加費：無料

定員：先着10名

申込期間：11月21日(土)より受付開始

申込場所：喜界町図書館受付カウンター



新

着

図

書



《おとなの本》

★『中野お父さん』北村 薫著 文藝春秋
新人賞候補者からの思いがけない一言は…？大物作家宛ての手紙に愛の告白？若き体育会系文芸編集者の娘と、定年間近の高校教師の父が、出版界で起きた様々な「日常の謎」に挑む！

★『花咲小路二丁目の花乃子さん』小路 幸也著
ポプラ社

花咲小路商店街で「花の店にらやま」を営む花乃子さんのもとに居候することになった、めいちゃん。花屋の仕事を手伝うなかで、ある日ちょっと気がかりなお客さんが来店して…。

★『まにまに』西 加奈子著 KADOKAWA
嬉しくても悲しくても頭にきて泣けるという、喜怒哀楽に満ちた日常、愛する音楽・本への尽きない思い…。著者の6年分のエッセイがギュッと詰まった一冊。

★『小説の書きかた』須藤 靖貴著 講談社
神奈川県立横須賀文翔高校文芸部の女子3人は、共作で小説誌の新人賞に応募することに。新人部員のキミ子は当惑する。小説を書いたことはもちろん、ほとんど読んだことのないのに…。アタマとココロの新・実用小説。

★『たらふくつつてん』奥山 景布子著 中央公論社
江戸を笑わせた絶対絶命の男、鹿野武左衛門。「江戸落語の始祖」といわれた男の謎と波瀾に満ちた半生を描く。

★『呪文』星野 智幸著 河出書房新社

★『絵手紙・さる年の年賀状』日貿出版社 日貿出版社

★『小さいことの積み重ね』高橋 幸枝著 マガジンハウス

《こどもの本》

★『テレビのするやすみ』村上 しいこ 文 PHP研究所
わが家のテレビが、一日だけするやすみをして、ぼくといっしょにななちゃんの誕生日パーティーに行きたいと言いだした。「なにかひとつ、隠し芸をせなあかん」と言うぼくに、テレビは「マジックができます」と答えて…。

★『ちやいろいろつつみ紙のはなし』アリソン・アトリー作
松野 正子 訳 福音館書店
どこかへ冒険にでかけたくてたまらない。ちやいろいろつつみ紙。クリスマスが近づくと、一軒の家につれていかれました。紙はおくりものの箱をくるんでこつつみになると、郵便局にもっていかれ…

★『ゴリラのおとうちゃん』三浦 太郎作 こぐま社
のんびり木陰でお昼寝中のゴリラのおとうちゃん。そこへ、かわいいゴリラのあかちゃんがやってきて…。

★『ごいっしょにどうぞ』武田 美穂作 廣済堂あかつき
「この絵本は、ぼくがきのうから読んでたんだよ」「きょうは、私が読むの」お互いにゆずらず、絵本を取り合っていたしゅんくんといくちゃん。そんな二人に先生は…。魔法の言葉がこころをつなぐおはなし絵本。

★『岸辺のヤービ』梨木 香歩著 福音館書店

★『ルイズといじわるなへいたいさん』
ルイズ・スロボドキン作 徳間書店

★『カエルくんのたんこぶ』宮西 達也作 鈴木出版



9月のベストリーダーズ

一般図書	1	ベトナムの桜 マインド	平岩 弓枝/著 今野 敏/著	児童図書	1	しろくまちゃんのほっとけーき	雑誌	1	LEE 2015年9月号
	2	親を看取る 強襲(所轄魂)	長瀬 敦子/著 笹本 穂平/著		2	全(オール)カメンライダーひみつ超図鑑 い・じ・め/かいけつゾロリ/はなかつぱともも かつぱ/ほねほねザウルス/グレースケリー/ ナイチンゲール/アロサウルス/だまし絵・錯 覚大辞典/アンパンマン/こぐまちゃん/なみ だどろぼう/14ひきのかぼちゃ他		2	NHKきょうの料理 2015年8月号 クロワッサン 2015年7月25日号 週刊文春 2015年9月号 特選街 2015年8月号 non+no 2015年9月号 他
	3	極悪専用 ちようかい(未犯調査会)	大沢 在昌/著 仁木英之/著		3				



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	休館日			資料休館日		おはなし会
8	9	10	11	12	13	14
	休館日			団体貸出 てくてく・子探・ 幼稚園・保育・早学 室	子育て支 援来館日	おはなし会
15	16	17	18	19	20	21
	休館日		早町小学校 団体 貸出・読書会(1~3年)	早町小学校 団体 貸出・読書会(4~6年)		おはなし会
22	23	24	25	26	27	28
	休館日					おはなし会
29	30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5
	休館日					クリスマス おはなし会

※ 休館日です(毎週月曜日・第1木曜日)
・開館時間 午前10時～午後6時

おはなし会・ミニ映画

毎週土曜日 午後2時～2時40分
今月のミニ映画は「ねぎぼうずのあさたろう」

9月統計 (開館日数24日)	貸出冊数	H27年度合計
	4,716 冊	24,833 冊
	来館者数	H27年度合計
	1,296 名	9,727 名